

## 2019年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月9日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名  
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 笹原 利明 TEL 052-249-3504  
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第2四半期の連結業績（2018年6月1日～2018年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	15,603	6.5	494	△1.9	370	△5.6	207	△9.8
2018年5月期第2四半期	14,649	3.1	503	△10.1	392	△9.7	229	△16.1

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 232百万円 (△9.1%) 2018年5月期第2四半期 256百万円 (△14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	142.27	—
2018年5月期第2四半期	158.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第2四半期	26,475	6,015	21.4	3,886.90
2018年5月期	22,411	5,958	25.1	3,864.86

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 5,667百万円 2018年5月期 5,635百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2019年5月期	—	0.00	—	—	—
2019年5月期 (予想)	—	—	—	140.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	20.0	1,590	30.7	1,300	20.6	840	19.1	576.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期2Q	1,480,000株	2018年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2019年5月期2Q	21,778株	2018年5月期	21,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期2Q	1,458,222株	2018年5月期2Q	1,454,642株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年11月30日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いております。名古屋駅周辺の開発に加え、近隣地域の開発が進み、更なる経済活性化に期待が高まっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年から引き続き増加基調が続いております。分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、消費税増税前を商機としてとらえ着工数が堅調に推移しております。消費税増税前までは、このような状況が続くと予想するとともに、市場での激しい競争が継続すると考えております。

② 当社の取り組み

- ・商品住宅として工業化と規格化を推進し、事業工期の短縮、品質の安定化を行うとともに、情報処理技術を用いた顧客データベースと、ヒューマンタッチな営業を融合させることによる販売差別化を推進しました。
- ・住宅主要部品の工業化を一層進めるため、住宅パネルの製造を行う工場を新設し、稼働いたしました。また、岐阜工場で生産する製品の物流および建築部品の工業化を推進するための拠点として、新たに工場用地および建屋を取得いたしました。建築資材の更なる内製化を行い、商品の差別化を進めるとともに、生産性の向上、コスト改善に取り組んでまいります。
- ・アセットマネジメント事業において、お客様の利便性向上を目的として、ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部のネット予約システム構築、ゴルフ場内のショップ改修工事を行いました。

③ 当第2四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期実績	15,603百万円	494百万円	370百万円	207百万円
前年同期比	6.5%増	1.9%減	5.6%減	9.8%減

	販売戸数	内訳		
		戸建住宅	集合住宅(新築)	集合住宅(中古)
当第2四半期実績	395戸	395戸	—	—
前年同期実績	387戸	361戸	—	1棟26戸
前期実績(通期)	966戸	820戸	7棟120戸	1棟26戸

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	14,276百万円	524百万円	販売戸数が増加し売上高増加。在庫回転率を重視し、一部在庫の販売価格を見直したことにより、利益は減少。
前年同期比	8.4%増	14.9%減	

b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	1,104百万円	260百万円	ウッドフレンズ名古屋港ゴルフ倶楽部の運営開始により、売上高および利益が増加。
前年同期比	22.9%増	15.6%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当第2四半期実績	152百万円	△6百万円	収益型不動産の販売がなかったため、売上高が減少。
前年同期比	72.2%減	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当第2四半期実績	130百万円	9百万円	その他の事業の請負工事発生により、売上高および利益が増加。
前年同期比	56.0%増	15.0%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し4,064百万円増加し、26,475百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得にかかる借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し4,006百万円増加し、20,459百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し57百万円増加し、6,015百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が4,405百万円増加(前年同期比34.0%増)したこと等により、4,031百万円の支出(前年同期比28.4%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、681百万円の支出(前年同期比27.6%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入等により、4,179百万円の収入(前年同期比18.9%増)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は533百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は3,244百万円(前年同期比10.6%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月11日付の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,796,546	3,263,093
完成工事未収入金	6,044	75,371
売掛金	336,746	304,129
販売用不動産	6,324,786	8,343,365
仕掛販売用不動産	5,581,402	7,497,425
商品及び製品	296,612	379,615
未成工事支出金	1,387,720	1,656,975
原材料	224,569	335,118
仕掛品	154,079	162,147
その他	774,699	548,272
流動資産合計	18,883,207	22,565,514
固定資産		
有形固定資産	3,017,470	3,346,544
無形固定資産	98,861	90,925
投資その他の資産	411,497	472,169
固定資産合計	3,527,828	3,909,639
資産合計	22,411,036	26,475,153
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,672,256	1,678,258
買掛金	504,260	346,208
1年内償還予定の社債	161,600	217,900
短期借入金	6,878,157	10,293,208
1年内返済予定の長期借入金	1,626,272	2,223,534
未払法人税等	262,628	153,083
賞与引当金	191,122	33,953
役員賞与引当金	40,000	—
完成工事補償引当金	146,450	128,239
その他	825,660	973,926
流動負債合計	12,308,409	16,048,312
固定負債		
社債	332,000	406,000
長期借入金	2,945,371	3,206,269
退職給付に係る負債	1,756	2,056
役員退職慰労引当金	147,853	150,096
資産除去債務	13,085	13,156
その他	704,527	633,427
固定負債合計	4,144,594	4,411,005
負債合計	16,453,004	20,459,317

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	5,112,906	5,145,385
自己株式	△41,762	△41,762
株主資本合計	5,635,225	5,667,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	253
その他の包括利益累計額合計	604	253
非支配株主持分	322,201	347,877
純資産合計	5,958,032	6,015,836
負債純資産合計	22,411,036	26,475,153



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
売上高	14,649,128	15,603,206
売上原価	12,583,702	13,526,620
売上総利益	2,065,426	2,076,585
販売費及び一般管理費	1,561,522	1,582,153
営業利益	503,904	494,432
営業外収益		
受取利息	22	39
受取手数料	8,889	10,214
補助金収入	—	15,049
その他	10,954	18,104
営業外収益合計	19,866	43,407
営業外費用		
支払利息	111,368	128,263
その他	19,847	39,034
営業外費用合計	131,216	167,298
経常利益	392,554	370,541
特別利益		
事業譲渡益	—	5,083
特別利益合計	—	5,083
特別損失		
固定資産除却損	11,124	2,132
特別損失合計	11,124	2,132
税金等調整前四半期純利益	381,430	373,492
法人税等	125,328	140,351
四半期純利益	256,101	233,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,144	25,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,956	207,466

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	256,101	233,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	△350
その他の包括利益合計	130	△350
四半期包括利益	256,231	232,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,086	207,115
非支配株主に係る四半期包括利益	26,144	25,675

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	381,430	373,492
減価償却費	202,450	235,583
受取利息及び受取配当金	△614	△828
支払利息	111,368	128,263
売上債権の増減額(△は増加)	4,047	△36,709
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,288,851	△4,405,477
仕入債務の増減額(△は減少)	34,616	△152,049
その他	△358,084	197,825
小計	△2,913,638	△3,659,898
利息及び配当金の受取額	614	828
補助金の受取額	—	15,049
利息の支払額	△106,318	△139,810
法人税等の支払額	△120,254	△247,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,139,596	△4,031,550
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△923,121	△665,834
無形固定資産の取得による支出	△19,617	△7,370
その他	1,606	△8,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△941,131	△681,366
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	8,502,659	10,845,195
短期借入金の返済による支出	△6,258,688	△7,505,644
長期借入れによる収入	2,357,800	2,225,500
長期借入金の返済による支出	△926,212	△1,291,841
社債の発行による収入	98,585	198,145
社債の償還による支出	△99,700	△69,700
自己株式の売却による収入	18,144	—
リース債務の返済による支出	△46,279	△47,632
配当金の支払額	△130,252	△174,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,516,059	4,179,464
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△564,668	△533,453
現金及び現金同等物の期首残高	4,191,546	3,777,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,626,878	3,244,091

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	13,168,549	898,390	541,506	40,682	14,649,128	—	14,649,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	519	8,925	43,114	52,559	△52,559	—
計	13,168,549	898,909	550,432	83,796	14,701,688	△52,559	14,649,128
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	616,589	225,061	△59,934	8,433	790,149	△286,245	503,904

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△286,245千円には、セグメント間取引消去15,236千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△301,481千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	14,276,600	1,104,164	135,058	87,381	15,603,206	—	15,603,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	550	17,843	43,334	61,729	△61,729	—
計	14,276,600	1,104,715	152,902	130,716	15,664,935	△61,729	15,603,206
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	524,447	260,184	△6,774	9,701	787,558	△293,126	494,432

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△293,126千円には、セグメント間取引消去12,315千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△305,441千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。